

報道関係者各位

EBI-2018-031

2018年8月6日

株式会社イーブックイニシアティブジャパン

中国からの引揚げ経験を持つ漫画家・ちばてつや氏と森田拳次氏が明かす
「ぼくらが見た戦争～漫画家が伝える引揚げ体験」
eBookJapan が「あの記憶を忘れない～終戦の日特集 2018～」を公開

世界最大級のマンガ品揃えを誇る、電子書籍販売サイト「eBookJapan」を運営する、株式会社イーブックイニシアティブジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小出斉（こいでひとし））は、「あの記憶を忘れない～終戦の日特集 2018～」として、中国からの引揚げ経験を持つ漫画家・ちばてつや氏と森田拳次氏が2017年8月5日に行った対談イベント「ぼくらが見た戦争～漫画家が伝える引揚げ体験」の様子を、8月6日より公開いたします。

◆「あの記憶を忘れない～終戦の日特集 2018」特設ページ

<https://www.ebookjapan.jp/ejb/content/etc/sensou/index.asp>



<対談本文より抜粋>

— お互いが引揚げ者であることを知ったのは、不意な発言からだったようですね。

ちばてつや そうですね。日本と中国が国交回復したときですね。出版社で、漫画家たちの集まりがあったんです。みんなが新聞見ながら、「あ、国交が回復した」なんて言ってる時に、「あ、中国へ行けるんだ、懐かしいな」って話をしたんですよ。そうしたら「なんで懐かしいの？」って聞かれますよね。

— ああ、なりますね。

【本件についてのお問い合わせ先】 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 広報担当：木元

TEL：070-1467-4092 FAX：03-3518-9131 MAIL：pr@ebookjapan.co.jp

ちばてつや どうしようかなって感じで、声をひそめて「俺、引揚者なんだよ」って言ったの。そしたら「え、俺もそうだよ」って、何人か笑って名乗り出てきたんです。その中に赤塚さんとか森田さん、北見さんがいて、みんな引揚者だったのかわかったことがありましたね。それまでも凄く仲のいい友達だったんですけど、さらに縁みたいなのを感じましたね。

——森田さん、その、「引揚者」であったことは何か後ろめたく、言いづらい事だったのですか。

森田拳次 そうですね。子供の頃はやっぱりなんとなく引揚げてきたっていうことに、コンプレックスを感じていましたね。大体みんな持ち家じゃなくて、引揚連中の宿舎のような倉庫とか、そういうところに住んでいた人が多かった。やっぱりなんとなく後ろめたいのもありましたね。

また本特集公開に合わせ、『ひねもすのたり日記』（ちばてつや）『赤狩り THE RED RAT IN HOLLY WOOD』（山本おさむ）『戦争めし』（魚乃目三太）など“戦争”をさまざまな側面から描いた漫画を129作品、『長く高い壁 The Great Wall』（浅田次郎）『指の骨』（高橋弘希）『インパール』（高木俊朗）など戦争文学・評論を189作品を取り上げています。

■ちばてつや

1939年1月11日、東京築地の聖路加病院で生まれ、同年11月、朝鮮半島を経て1941年1月旧満州・奉天（現中国・遼寧省瀋陽）に渡る。1945年終戦。翌年、中国より引揚げる。1956年、単行本作品でプロデビュー。1958年『ママのバイオリン』で雑誌連載を始め、1961年『ちかいの魔球』で週刊少年誌デビュー。主な作品に『1・2・3と4・5・ロク』『ユキの太陽』『紫電改のタカ』『あしたのジョー』（原作：梶原一騎）『おれは鉄兵』『あした天気になあれ』『のたり松太郎』など多数。『1・2・3と4・5・ロク』にて第3回講談社児童まんが賞（1962年）、『おれは鉄兵』にて第7回講談社出版文化賞（1976年）、『のたり松太郎』にて第6回日本漫画家協会特別賞（1977年）、第23回小学館まんが賞（1978年）を受賞。2001年これまでの青少年・少女に元気を与え続けた全作品に対して文部科学大臣賞、2002年紫綬褒章を授章。公益社団法人日本漫画家協会理事長。

■森田拳次 プロフィール

1939年5月11日生まれ。東京都出身。少年時代を満州国（現在の中華人民共和国東北部）で過ごす。1956年、17歳で単行本デビュー。『丸出だめ夫』『ロボタン』など数々のギャグ漫画を発表。1970年、ひとコマ漫画家として身を立てる決意をし、単身渡米。現地の新聞、雑誌等にひとコマ漫画を描く。帰国後「FECO NIPPON」を結成する。のちに「JAPUNCH」に改称。現在も第一線のひとコマ漫画家として活躍中。講談社児童漫画賞、日本漫画家協会賞など数々の賞を受賞。中国引揚げ漫画家の会、「私の八月十五日」の会（代表幹事）を立ち上げ、第二次世界大戦の記憶を風化させない活動を行っている。

eBookJapan は今後とも、貴重な出版資産を後世に残す企画を積極的に行ってまいります。

■eBookJapan の主な特長

- ・世界最大級のマンガ作品数をはじめ、56万冊を超える“充実のラインナップ”
- ・購入した作品は複数端末（*）で楽しむ、My本棚は“背表紙表示”も可能

【本件についてのお問い合わせ先】 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 広報担当：木元

TEL：070-1467-4092 FAX：03-3518-9131 MAIL：pr@ebookjapan.co.jp

・手軽なブラウザでも、ダウンロード後はオフラインでも楽しめる “高画質リーダー”

* WindowsPC、Mac、iPad/iPhone/iPod touch、Android に対応

■ **株式会社イーブックイニシアティブジャパンについて**

2000 年に「SAVE TREES！」を合い言葉に創業した電子書籍業界の老舗です。

2011 年に東京証券取引所マザーズ市場に上場、2013 年に東証一部へ市場変更。(コード：3658 “365 日ハッピー”)

2016 年 9 月より、Yahoo! JAPAN グループの一員となりました。

コーポレートサイト：<http://corp.ebookjapan.jp/>

電子書籍販売サイト：eBookJapan (<http://www.ebookjapan.jp/ebj/>)

ハイブリッド書店：bookfan (<http://boox.jp/>)